



鳥羽市は「多様な社会を生き抜く、知性・感性・理性にあふれた健康な市民の育成」を目標としています。

とばし教育委員会だより

2025. 9. 1 第30号



～オンラインで台湾と国際交流～

鳥羽小学校では、コミュニケーション力の向上を目指して、台湾の鳳陽国民小学校と華山国民小学校との国際交流授業を実施しました。オンラインでつながり、台湾の子どもたちと英語を使って自己紹介を交わし、共通点や文化の違いを知ることができました。子どもたちは、国を越えた交流を楽しんでいました。





令和7年度 教育予算の概要



第2次鳥羽市教育ビジョンに基づく、令和7年度の主な教育予算をご紹介します。

施策1【しっかり学ぶ子どもを育てる】

事業名 外国語教育推進事業
予算額 19,972千円
説明 英語を母国語とする専任英語指導助手を幼稚園、小学校、中学校に配置します。本物の英語や外国の文化にふれる機会を設け、英語での対話能力や国際的な感覚を育てます。また、児童生徒の英語への興味関心を引き出し、英語力の向上を図るため、英語アプリを活用し、外国語教育を推進します。

施策2【子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育の推進】

事業名 海洋教育推進事業
予算額 3,816千円
説明 市内の海に関する学習拠点や研究拠点が作成した「環境」、「いのち」、「産業」、「しごと」、「コミュニケーション」をテーマとしたコンテンツの中から、各小中学校が出前授業や各施設での体験学習など選択し、学びを進めます。また、国際的な海洋教育の推進に向け、パラオ共和国に中学生4名、教員1名を派遣し、交流を行います。



施策3【多様な個性を認め合う豊かな心と健やかな体を育てる】

事業名 高校生修学支援事業
予算額 6,639千円
説明 離島在住の高校生及び市内在住の鳥羽高校生について、教育における経済的負担の軽減を図るため、通学費や下宿費を一部補助します。令和7年度からは、離島高校生に対する補助率をこれまでの1/4から1/2に拡充し、より一層の負担軽減を図ります。

事業名 学校給食費無償化事業
予算額 55,818千円
説明 物価高騰に伴う子育て世帯の経済的負担を軽減するため、小中学校の児童生徒の給食費を無償化します。

施策4【地域・家庭とともにある園・学校づくり】

事業名 体育館空調設備設置等工事設計業務（小学校管理業務）
予算額 13,171千円
説明 児童の熱中症対策のほか、防災拠点としての機能向上を図るため、避難所となっている学校体育館（鳥羽小学校・加茂小学校・弘道小学校）への空調設備設置及び施設の断熱化等に向けた設計業務を行います。



施策5【生涯学習やスポーツの推進】

事業名 文化財保護事業（文化財保存事業、文化財調査事業、文化財収蔵展示施設運営管理費）
予算額 95,650千円
説明 鳥羽の貴重な文化財や郷土資料の調査・保存・活用を進めるほか、国登録有形文化財である旧鳥羽小学校校舎の外壁改修工事を行います。

事業名 運動施設管理運営事業
予算額 63,061千円
説明 スポーツや文化活動の拠点として、運動施設の維持管理や各種講座の企画・開催を行います。また、施設の適正な維持管理のため、中央公園水泳プール更衣室床張替修繕工事やサブアリーナ舞台照明器具の取替を行います。

中学生世代の新たな地域クラブ活動の準備を進めています！～部活動地域展開の取組状況～

生涯学習課スポーツ推進係

近年、少子化による生徒数の減少により、部活動部員数の減少や大会参加資格に必要な部員を確保できないなどの理由から部活動の存続が危惧されています。そのような背景の中、国の方針として将来にわたって生徒が継続的にスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するため、これまで学校が主体となってきた部活動を地域に開き、地域クラブ等が受け皿となり、地域全体で連携して活動機会を確保する部活動「地域展開」の必要性が示されています。

鳥羽市においても地域展開に向けて協議を行っていることから、協議の経過や取組状況についてご紹介します。

※以前は「地域移行」と呼んでいましたが、地域クラブ活動の在り方を的確に表すため、令和6年12月から「地域展開」に名称変更しています。

鳥羽市の部活動地域展開について

中学校部活動の状況をふまえ、受け入れ体制が整った競技から令和8年度の休日の部活動を中心に地域クラブでの活動へ地域展開を目指します（平日についても対応可能な競技は地域展開を図っていく）。なお、活動場所はこれまでと同様に学校施設や公共施設を想定しています。

地域展開を実施するメリット

- ★多様な活動を楽しめる
- ★希望する競技の継続
- ★学校の枠を超えた仲間づくり
- ★多様な世代との豊かな交流
- ★有資格者、専門性のある指導者からの指導

鳥羽市の動き「これまで」と「これから」

令和4～5年度 → 令和6年度 → 令和7年度 → 令和8年度

<p>・アンケート調査実施 ・「中学生世代の新たな地域クラブ活動準備・推進計画」を策定 ・地域スポーツ指導者育成補助(令和5年度スタート)</p> 	<p>・市内各中学校の部活動として実施している運動部について意見交換を行う合同ミーティングを初めて開催</p>  <p>部活動顧問と地域クラブとのミーティングの様子</p> 	<p>・継続的な協議 ・10月以降には「移行調整期間」として中学校と地域クラブが合同練習等を実施予定(地域展開候補競技対象)</p>	<p>・可能な競技に限り土日など休日の部活動を地域展開実施予定</p> 
---	--	--	---

TOPICS 一足早く取り組みが始まっています！

受け皿となる地域団体の準備状況は競技によって様々ですが、令和7年度から地域展開が始まっている競技があります。そのひとつの競技としてバドミントンをご紹介します。バドミントンについては、地域クラブが立ち上がっており、部活動以外の時間帯で地域の子どもたちに練習場所を提供したり、本年度から男子中学生が所属し、試合に出場しています。



7月26～27日開催の第53回三重県中学校バドミントン大会

最後に

受け皿となる地域スポーツ団体や指導者の確保など、課題はありますが、鳥羽の子どもたちのスポーツや文化芸術活動の場を確保、充実するよう取り組みを進めていきますので、ご理解とご協力よろしくお願いいたします。

☺ 登下校の見守りにご協力を

9月に入り、新学期がスタートします。子どもたちの安全・安心な登下校のため、地域の皆さまの見守りをよろしくお願いいたします。

離島甲子園

全国の離島の中学校が集まる第16回全国離島交流中学生野球大会（離島甲子園）が沖縄県の宮古島で開催されました。8月17日（日）～8月22日（金）の行程で、鳥羽市代表として、答志中学校と鳥羽東中学校に通う離島在住の生徒で構成された「鳥羽」チームが出場しました。

鳥羽市は、第1回大会から出場しており、コロナ禍を除いて今年で15回目の参加となります。

1回戦では長崎県五島市代表「五島パラモン」に11対5で敗れましたが、その後の交流戦では、鹿児島県薩摩川内市代表「甌島選抜」に18対1で快勝しました。

熱い中の試合でしたが、選手たちは最後まで諦めないプレーで戦ったほか、開会式や閉会式などの機会を通じて、しっかりと他の離島の子どもたちとも交流を図りました。



水辺の安全教室

市内小学校5・6年生を対象として、6月11日から6月13日までの3日間にかけて「水辺の安全教室」を実施しました。

「水辺の安全教室」は、ライフジャケット浮遊体験や背浮き、身の回りにある浮くものを利用した落水時の対処法などの実体験を通して、子どもたちが水辺の活動において「自分の命は自分で守る（セルフレスキュー）」意識や知識、技能を身につけ安全に楽しく水辺で活動してもらうための体験学習プログラムです。

座学では映像視聴やその映像の内容に沿ったクイズを実施し、子どもだけで海や川等に行かないようにすることやライフジャケットなどの身を守る物の大切さについて学びました。晴天時の実習は鳥羽中央公園水泳プールで実際にライフジャケットを身に付けて浮いたり泳いだりして、ライフジャケットの正しい使い方や海に落ちた時に助けを求める方法を体験しました。雨天時については、プールでの実習の代わりにタミー人形を使用した心肺蘇生の練習を行いました。

どの体験も子どもたちは楽しみながら取り組み、自分やまわりの人の命を守る方法について学びを深めました。



ご意見ご要望をお寄せ下さい